

ラーニング・クライシス
Learning Crisis

学びの危機と学びの場



しばた くにのみ

柴田 邦臣 先生

ご講演

津田塾大学 学芸学部 教授

柴田先生は社会学・社会福祉学を専門分野とされ、「障害・能力」と、それを支えるITなどの科学技術をフィールドとしてこれまでご研究を進められてきました。近年では身体とテクノロジーをめぐる社会関係に着目しつつ、EdTech（教育の情報化）やSTEM（科学教育）を活用した、インクルーシブな教育のあり方に焦点を当ててご研究をされています。コロナ禍以降では、障がいを持つ子どもを主な対象としてオンライン学習支援を提供する「まなキキプロジェクト」の代表を務められており、プロジェクトでは障がい者就労のコーヒーを学生とともに販売するなど、社会活動にも取り組まれています。

ラーニング・クライシス
「学びの危機」
とは？

柴田先生によれば、

障害のある子どもたちは、各自の身体・精神・知的な事情や傾向により、「特別な努力」をして学んでいます。その「特別な努力をして学び続ける」意欲に対して、もし、障害のある子どもたちにある種の「無力化」をもたらしうることが危惧されるような状況が現出するのであれば、それをLearning Crisisと呼称することに、異論は少ないのではないのでしょうか。

と述べます。コロナ禍中に教育環境の危機的状況が取り沙汰されてから久しい現在も、「学びの危機」はむしろ「社会問題」として存在しています。

会場

ホテル森夢プラムホール

日時

2/19（月）18：30～

予約不要・無料

どなたでもご参加ください

インクルーシブな教育・社会を作っていくヒントをご参加の皆様と考えるために、今回の講演ではできるかぎり聴衆の皆様からのご意見を拾えるような形式での開催を予定しております。ワークショップ形式になるかもしれません。ぜひ積極的にご参加いただくと幸いです。